

2022年3月31日

関係各位

株式会社みちのりホールディングス

佐渡汽船への出資を通じた経営支援に関するお知らせ

株式会社みちのりホールディングス（代表取締役グループ CEO 松本順、以下「当社」）は、本日付で、佐渡汽船株式会社（代表取締役社長 尾崎弘明、以下「佐渡汽船」）の株式（普通株式・A種種類株式）及び新株予約権を引き受け、これにより、佐渡汽船はみちのりグループの一員となりました。（添付：佐渡汽船リリース資料）

みちのりホールディングスは、佐渡汽船の経営を支援し、佐渡と本土間の人流・物流の発展を通じて地域社会の活性化に貢献して参ります。なお、今回の佐渡汽船のみちのりグループ入りに際しては、全ての雇用が引き継がれます。

佐渡汽船の新たな経営体制は以下の通りとなります。

取締役会長	松本 順
代表取締役社長	尾渡 英生
取締役	八木 秀徳
社外取締役	金井 暁
常勤監査役	臼杵 章
社外監査役	若槻 良宏
社外監査役	神野 雅央
常務執行役員	渡辺 幸計
常務執行役員	真保 高弘
執行役員	三富 丈堂

加えて本日、新潟県・佐渡市・上越市・佐渡汽船・当社の五者間で協定を締結し、発表しておりますので、併せてご確認下さい。

<本件に関するお問い合わせ先>

株式会社みちのりホールディングス 工代

TEL : 03-6250-1075

2022年3月31日

関係各位

佐渡汽船株式会社
取締役会長 松本 順
代表取締役社長 尾渡 英生

新体制の発足に関するお知らせ

当社は、本日、株式会社みちのりホールディングス（以下、「みちのり HD」）を割当先とする普通株式及び A 種種類株式並びに第 9 回新株予約権を発行し、みちのり HD による払込みが完了したことに伴い、みちのりグループの一員となりました。また、本日、株式会社第四北越銀行を割当先とする B 種種類株式を発行し、同行からの払込金を借入金の弁済に充当する方法による金融支援を得ています。

当社及び当社グループ各社は、みちのりグループによる経営支援を受けつつ、以下に記載の経営方針の下、佐渡航路及び佐渡島の活性化に向けて取り組んで参ります。

プレスリリース

本日発足した当社及び当社グループ各社の新たな経営体制は、以下の通りとなります。

【佐渡汽船株式会社】

取締役会長	松本 順
代表取締役社長	尾渡 英生
取締役	八木 秀徳
社外取締役	金井 暁
常勤監査役	白杵 章
社外監査役	若槻 良宏
社外監査役	神野 雅央
常務執行役員	渡辺 幸計
常務執行役員	真保 高弘
執行役員	三富 丈堂

【佐渡汽船グループ各社】（本日付 各社取締役会にて決定予定）

役職	佐渡汽船シップ マネジメント 株式会社	佐渡汽船シップ メンテナンス 株式会社	佐渡汽船運輸 株式会社
代表取締役社長	真保 高弘	天野 明彦	白杵 修二
取締役	尾渡 英生	尾渡 英生	尾渡 英生
取締役	八木 秀徳	八木 秀徳	八木 秀徳

役職	佐渡汽船観光 株式会社	佐渡汽船商事 株式会社	万代島ビルテクノ 株式会社
代表取締役社長	久保 伸博	本間 一行	渡辺 幸計
取締役	尾渡 英生	尾渡 英生	尾渡 英生
取締役	八木 秀徳	八木 秀徳	八木 秀徳

役職	両津南埠頭ビル 株式会社	株式会社 佐渡西三川 ゴールドパーク	小木観光 株式会社
代表取締役社長	山中 一秀	山中 一秀	山中 一秀
取締役	尾渡 英生	尾渡 英生	尾渡 英生
取締役	渡辺 幸計	渡辺 幸計	渡辺 幸計

役職	株式会社 佐渡歴史伝説館	株式会社 SADO ニッ亀 ビューホテル
代表取締役社長	山中 一秀	菊池 賢治
取締役	尾渡 英生	尾渡 英生
取締役	渡辺 幸計	渡辺 幸計
取締役（社外）	-	山口 栄一郎

【取締役の略歴】

氏名	略歴等
<p>まつもと じゅん 松本 順</p>	<p>宮城県出身 60歳 1984年3月 上智大学法学部卒業 1984年4月 株式会社日本リース 2000年4月 日本GMAC コマーシャルモーゲージ株式会社 2003年5月 株式会社産業再生機構執行役員 2007年4月 株式会社経営共創基盤取締役マネージングディレクター 現 同社共同経営者(パートナー)マネージングディレクター 2009年3月 株式会社みちのりホールディングス代表取締役社長 現 同社代表取締役グループ CEO 2020年5月 株式会社日本共創プラットフォーム取締役専務</p> <p>現職 岩手県北自動車株式会社代表取締役社長 浄土ヶ浜パークホテル代表取締役社長 福島交通株式会社取締役会長 会津乗合自動車株式会社取締役会長 関東自動車株式会社取締役会長 茨城交通株式会社取締役会長 湘南モノレール取締役会長 株式会社みちのりトラベルジャパン取締役会長 株式会社南紀白浜エアポート取締役</p> <p>団体等 公益社団法人福島県バス協会会長 四国旅客鉄道株式会社経営改善委員会委員</p>
<p>おわたり ひでお 尾渡 英生</p>	<p>福岡県出身 61歳 1983年3月 埼玉大学経済学部卒業 1983年4月 日商岩井株式会社 2008年6月 ベトナムスズキ社取締役副社長 2011年4月 双日ロジスティクス株式会社国際事業本部長 2013年4月 IS JAYA LOGISTIK 社取締役副社長 2015年10月 湘南モノレール株式会社代表取締役社長 (2022年3月31日 退任) 現職 株式会社みちのりホールディングスグループディレクター</p>
<p>やぎ ひでのり 八木 秀徳</p>	<p>富山県出身 40歳 2006年3月 筑波大学社会工学修士 2014年8月 ロンドンビジネススクール経営学修士 2006年4月 株式会社日本政策投資銀行 2018年9月 株式会社経営共創基盤 2020年10月 株式会社日本共創プラットフォームディレクター</p>
<p>かない さとる 金井 暁</p>	<p>東京都出身 45歳 1999年3月 上智大学法学部卒業 2003年10月 弁護士登録 2003年10月 西村あさひ法律事務所 2012年5月 新樹法律事務所開設 2013年5月 大知法律事務所開設 代表弁護士</p>

プレスリリース

【経営方針】

◎佐渡汽船グループ：

- ・グループ経営を徹底し、連結グループ全体の事業再建・価値向上を実現する。
- ・経営と社員・現場の間の双方向のコミュニケーションの活性化を図る。
- ・デジタル化をはじめとした新たな仕組みを導入することによって、顧客利便性の向上と業務の効率化を実現する。
- ・管理職および事務職を対象として人事評価制度を刷新する。

◎船舶運航事業：

- ・安全・安心な運航の長期的な継続に注力する。
- ・地域社会と連携し、佐渡市民の社会生活を支えるインフラとして利便性の向上に努める。
- ・佐渡島への来訪者の増加に貢献すべく、利用者の利便性向上に努める。
- ・物流機能の生産性を高め、物量の増加に貢献し、地域の産業経済の活性化に寄与する。
- ・適切な船舶投資、適切な整備コストを実現する。
- ・適切な船舶投資を可能とする営業収支を生み出す。

◎陸上運輸事業：

- ・佐渡島における運輸事業のプレゼンスを更に向上させ、もって佐渡島の産業経済の活性と佐渡市民の社会生活の向上に貢献する。
- ・収支を改善し、事業の成長を実現する。
- ・適切な設備投資を行う一方で、必要に応じて拠点の集約を図る。

◎観光・旅行事業：

- ・来訪者の増加を果たすため、関係自治体と連携しつつ、佐渡の魅力のPR活動をリードする。併せ、地域一体となった魅力的な旅行商品の開発を進める。
- ・具体的かつ効果的な施策を講じてイベント参加者や観光客の取り扱いを増やす。
- ・レンタカーなど観光客の島内移動・周遊手段の利便性強化を図る。

◎物販・飲食事業：

- ・佐渡産品の販売・消費の機会を増やし、地域商社的な事業展開を図る。
- ・生産性の向上も含め、収支の改善を図る。

◎建物管理事業：

- ・事業拡大の可能性を探る。

【主要株主の議決権比率（2022年3月31日現在）】

主要株主	議決権比率
株式会社みちのりホールディングス	66.7%
新潟県	10.8%
佐渡市	3.5%
株式会社第四北越銀行	1.3%
佐渡農業協同組合	1.2%

【今後のスケジュール】

第三者割当に係る普通株式、A種種類株式、第9回新株予約権及びB種種類株式の発行日	2022年3月31日
当社普通株式の東京証券取引所における整理銘柄への指定日	2022年3月31日(予定)
当社普通株式の東京証券取引所における売買最終日	2022年5月2日(予定)
当社普通株式の東京証券取引所における上場廃止日	2022年5月6日(予定)
自己株式の消却	2022年5月9日(予定)
第10回新株予約権無償割当基準日	2022年5月9日(予定)
株式併合の効力発生日	2022年5月10日(予定)
株式分割基準日	2022年6月28日(予定)
株式分割効力発生日	2022年6月29日(予定)
第10回新株予約権無償割当効力発生日	2022年6月30日(予定)
株主の皆様による再出資	2022年7月1日以降

【参考. 株式会社みちのりホールディングスの概要】

みちのりホールディングスは、2009年に設立された交通・観光事業経営支援会社です。みちのりグループは、福島交通、茨城交通、岩手県北バス、関東自動車、会津バス、湘南モノレールの6グループの交通事業と、旅行会社であるみちのりトラベルジャパンを有し、地域をまたぐ広域連携を行っています。みちのりグループの特徴は、グループの交通・観光事業各社の経営にかかわるベストプラクティスの共有をもってグループ全体の組織能力の向上を実現し、これをそれぞれの地域の交通や観光、ひいては経済社会の発展に結び付けることにあります。

【参考. 佐渡汽船株式会社の概要】

佐渡汽船は、1913年に設立されて以来、100年以上にわたって佐渡島・本土を結ぶ航路の運航を担ってきました。現在、佐渡島・本土間の唯一の航路事業者として、新潟・両津間、小木・直江津間の2航路における海上運送と、島内を中心とした陸送事業を手掛け、佐渡島の人流と物流を支えています。また、旅行事業を有し、島内の観光施設を複数運営する等、佐渡島の観光経済のハブとしての役割も果たしています。

<本件に関するお問い合わせ先>

佐渡汽船株式会社 総務部

TEL：025-245-2311